

2020年度 年末手当回答＋追加支給要求シリーズ⑫

東日本ユニオン 中央本部

これが現場社員の声だ！

- 年末手当 2.2 ヶ月回答を聞いて落胆しました。コロナ禍の中、家族も不安を抱えながら仕事に従事して、さらには普段の業務ではやらない車内消毒もやってきました。後輩への人材育成についても日頃から過去の出来事など発信するなど努めてきました。「変革 2027」の考えに基づき各種施策も担っています。
社宅に入居していて、制度変更で来年度末には 15 年ルールで出なければなりません。あらゆることが会社施策によって振り回されています。月々の賃金も安く、期末手当を生活給に補填しながら、何とか「やりくり」してきている現状です。
確かに会社の売上は、かつてない数値です。しかし、蓄えもあるのも事実ですし、収入が過去最高のときも「今後のために」と言われ、抑え込まれてきました。今この厳しいときこそ、その蓄えた分を努力している社員に出さなくて何に使うのか！非常に頭にきます！ぜひ、経営側に再考していただき 0.8 ヶ月の追加支給を求めます！
- 組合員や社員はこの間、コロナ禍という状況の中、特にお客さまと接する立場の社員は感染しない努力したり、また感染すれば「メディアに報道」されたりと、大変な思いをしてきました。現場で奮闘している他の組合員や社員、また色々苦勞されてきた家族に報いるために、私も追加支給回答を引き出すために闘います。
- 役員報酬のカット率も明らかにしないのに、社員ばかりに痛みを押しつけるな！追加要求 0.8 ヶ月分支払え！
- 公共性が高い会社なのだから、最低でも公務員よりも払うべきだ！
- 黒字目標ありき、人件費に偏る対応は許せない！他にやれる削減をやるべきだ！赤字は新型コロナの影響であり、黒字目標は我慢だけで根拠はない。我慢だけでは未来は見えない。会社は再度考え直すべきだ！
- 即、妥結をしないでありがとうございます！到底納得いきません！役員報酬カットは当たり前です！我々一般社員は生活がかかっています！住環境制度のせいで無理やり家を造らせ、ローンの相談に行っている仲間もいます。追加要求実現において頑張りましょう！
- 私たちの率直な想いを受け止めて、追加支給を申し入れしていただいたことは本当に嬉しかったです！年末手当約 1 ヶ月分のショートは、一般社員には本当に厳しい現状となることを会社は分かっているのか？現場からも訴えていきます！
- 私が入っている組合は、2.2 ヶ月回答ですぐに妥結してしまいました。東日本ユニオンのホームページを見て、心強く思いました。
- 少なすぎる！「出せる体力は十分ある」と会社は認めているのに、いつになったらうちの会社は世間相場から脱却できるのか？永遠に押さえ込む気なのか。怒りしかない！この額では生活を切り詰めて生活しなくてはならない。